



東京産業保健総合支援センター研修案内(令和元年11月～令和2年1月)

◇研修のお申し込みは、当センターのホームページから直接申し込むことができます。

◇当センターが主催する研修は、すべて無料で受講できます。

◇研修は当センターの研修室で開催しています。会場が異なる場合は表記いたしますのでご注意ください。

〒102-0075 東京都千代田区三番町6-14 日本生命三番ビル3F TEL:03-5211-4480 FAX:03-5211-4485

URL=<http://www.tokyosjohas.go.jp>

◆認定産業医研修◆

※基礎研修は実施していません。認定証をお持ちの産業医の方が対象の研修です。

日時	テーマ	講師	単位	定員
11月7日(木) 14:00～16:00	働き方改革関連法施行に伴う各種指針等について～その概要をわかりやすく解説します～ 働き方改革の推進に伴い、労働基準法、労働安全衛生法等の改正がなされ今年4月から順次施行されています。 この間、法律の改正だけでなくいろいろな指針、ガイドライン、通達等(以下「指針等」という。)の改正や新規発出がなされています。法令の改正を伴わない健康確保対策に関連する指針等の改正等もあります。これらは産業医の職務に直接関係するものばかりではありませんが、関連するものとして知っておいた方がよいものも多くあります。 今回は、これらをまとめてその概要を解説してみたいと思います。また、たくさん出されている各種リーフレット等についても紹介していきたいと思います。	中山 篤	生涯・更新2	70
11月8日(金) 14:00～16:00	職場のアルコール問題の解決 従来のアルコール問題対策はもっぱらアルコール依存症者の治療でした。 しかしまだ依存症に至っていない問題飲酒者はその数倍はおり、多くは健康診断の事後措置の対象者になるのですが、対策が遅れていました。 この講義では節酒指導を中心に産業医活動で実施可能なアルコール問題対策を考えます。	(株)ジャパンEAPシステムズ取締役・顧問医 米沢 宏	生涯・専門2	70
11月12日(火) 14:00～16:00	働きやすい職場づくり～産業保健に関する最新のトピックスについて解説します～ ソフト面の快適職場づくりの考え方について解説します。また、産業保健に関する最新のトピックスについても解説します。	古山 善一	生涯・更新2	70
11月13日(水) 14:00～16:00	働き方改革と改正労働安全衛生法～産業医・産業保健機能の強化～ 「働き方改革を推進するための関係法律の整備に関する法律(働き方改革関連法)」は、2018年7月に公布され、2019年4月に施行されました。この法律により、労働基準法をはじめ8本の法律が改正され、長時間労働の是正、多様で柔軟な働き方の実現や雇用形態にかかわらず公正な待遇の確保などの措置が定められました。労働安全衛生法については、産業医による面接指導、健康相談等の確実な実施や産業医が専門的立場からより一層効果的な活動を行いやすい環境の整備のための改正が行われました。働き方改革関連法の制定の背景や概要、特に改正労働安全衛生法の概要について解説します。	荒川 輝雄	生涯・更新2	70
11月15日(金) 14:00～16:00	産業保健活動 産業医としての業務について～実際の産業医業務をどのように進めるか～ 対象として、産業医の実務について解説致します。具体的には、安全衛生計画の立案(評価)や安全衛生委員会の開催(運営)、職場巡視の実施や過重労働による健康障害防止活動の進め方等、産業医の関わる基本的な安全衛生事業について具体的な例を示しながら進めたいと思っています。産業医業務の実際についてご経験の少ない方々を歓迎致します。	角田 透	生涯・専門2	70
11月18日(月) 13:30～17:30	石綿関連疾患診断技術研修 石綿関連疾患について、石綿に関する一般的知識、石綿ばく露歴の把握方法、石綿関連疾患の診断及び労災補償制度等について解説します。 また、画像診断のポイント解説後、実際の症例画像を用いた読影診断実習を行います。(本研修会は13時30分から17時30分までの4時間、専門2単位・実地2単位の研修です。)	岡山労災病院腫瘍内科部長 藤本 伸一 旭労災病院健康診断部長 横山 多佳子	生涯・専門2 生涯・実地2	30
11月20日(水) 14:00～16:00	職場のメンタルヘルスにおける依存症 人は、気持ちに余裕がなくなるとストレス発散なのか嗜癖に陥り易いものです。例えば、アルコール、薬物、異性やギャンブルなどに。職場のメンタルヘルス問題の背景にも、依存(症)が隠されているかもしれません。一緒に依存症を概観し、症例を考えてみましょう。	長尾 博司	生涯・専門2	70
11月28日(木) 14:00～16:00	事例検討～産業医としてどう対応するか～ 職場で直面する健康管理上の問題事例を取り上げ産業医としてどのように考え、どう対応するのが望ましいのか、グループワーク、全体発表を通じて参加者全員で考えていきたいと思っています。	内田 和彦	生涯・実地2	40

12月3日(火)	産業保健と法⑩～心身の状態に関する情報の取扱い～			
14:00～16:00	ストレスチェック制度の施行に伴い、心身の状態に関する情報の取扱いがより煩雑になったと言われています。実務的な難しい問題が山積していますが、まずは基本に立ち返り、心身の状態に関する情報の取扱いの考え方や構造について見ていきます。	弁護士 西園寺 直之	生涯・ 専門2	70
12月6日(金)	作業環境測定方法			
13:30～16:30	本研修は、産業医が毎月1回行うことになっている「職場巡視に役立てる」を主眼に、「デジタル粉じん計」や有機溶剤等有害ガスや事務所の一酸化炭素測定に用いられる「検知管」それに局所排気装置の性能検査で使われる「スモークテスター」「熱線風速計」等の実習を行います。	市川 英一 岩崎 毅	生涯・ 実地3	30
12月9日(月)	働き方改革関連法施行に伴う各種指針等について～その概要をわかりやすく解説します～			
14:00～16:00	働き方改革の推進に伴い、労働基準法、労働安全衛生法等の改正がなされ今年4月から順次施行されています。 この間、法律の改正だけでなくいろいろな指針、ガイドライン、通達等(以下「指針等」という。)の改正や新規発出がなされています。法令の改正を伴わない健康確保対策に関連する指針等の改正等もあります。これらは産業医の職務に直接関係するものばかりではありませんが、関連するものとして知っておいた方がよいものも多くあります。 今回は、これらをまとめてその概要を解説してみたいと思います。また、たくさん出されている各種リーフレット等についても紹介していきたいと思います。	中山 篤	生涯・ 更新2	70
12月10日(火)	建設現場の職場巡視			
14:00～16:00	建設現場の安全衛生管理は、他職種と大きな違いがいくつかあります。基礎工事から完成までの有限性であること。その間使用する機材、有害物質が多様多様にわたり、労働者への曝露やハザードも様々であること。他職種にはない短期請負制度があること等です。そうしたことを把握した上で、しっかりとリスクマネジメントが求められています。「百聞は一見に如かず」です。まずはスライドで現場を「御一見」下さい。	土屋 譲	生涯・ 専門2	70
12月17日(火)	健康診断事後措置の具体的事例～ケースカンファレンス～			
14:00～16:00	健康診断の事後措置について、「就業に関する医師等の意見」に焦点をあて、その解説に加えて事例のグループ討議を行います。産業医がどのように事後措置へ関るのかの理解を深めることを目的にした研修です。	竹田 透	生涯・ 実地2	40
12月19日(木)	事業場における治療と仕事の両立支援			
14:00～16:00	がんやメンタルヘルス不調などに罹患した従業員を健康面、人事面からしっかりサポートし治療と就業の両立をはかることは、本人にとっても会社にとっても有意義な取り組みです。本研修では、この両立支援を行う産業医がキーパーソンとしてどのような対応を行うのかを一緒に学びたいと思います。	内田 和彦	生涯・ 専門2	70
12月24日(火)	事例検討に学ぶ海外勤務者の健康管理			
14:00～16:00	各種産業分野の国際化に伴い、海外勤務者の数が増加している。特に近年は、海外出張を繰り返す形で海外事業を運営する企業が増加しており、海外出張者の健康管理の重要性が高まっている。 今回の研修では、海外駐在者および海外出張者の事例を提示し、その事例の健康管理方法についてグループワークを行いながら、海外勤務者への適切な健康対応を学んでいく。	濱田 篤郎	生涯・ 実地2	40
1月7日(火)	働きやすい職場づくり～産業保健に関する最新のトピックスについて解説します～			
14:00～16:00	ソフト面の快適職場づくりの考え方について解説します。また、産業保健に関する最新のトピックスについても解説します。	古山 善一	生涯・ 更新2	70
1月9日(木)	職場における睡眠障害の各論的解説～睡眠負債を主として～			
14:00～16:00	前回は、職場における睡眠障害について睡眠負債を主として総論的に解説した。近年、睡眠負債が話題となっている。睡眠負債とは慢性的な睡眠不足状態である。それによって、身体機能・精神機能不調などを呈する諸疾患が生じることが知られている。今回は、それについて主に生物学的な視点から現状と対策について解説する。	山寺 博史	生涯・ 専門2	70
1月10日(金)	業務上疾病リストの改正の経過とその背景			
14:00～16:00	労働基準法施行規則に定める業務上疾病のリストは1978年にほぼ現行の形に改正され、その後も新たな業務上疾病の追加がなされてきました。それぞれの改正の背景や主な予防対策について学ぶこととします。	石井 義脩	生涯・ 専門2	70

<p>1月15日(水) 14:00～16:00</p>	<p>労働安全衛生法の理解を深める～法律の趣旨、体系や法律の読み方を理解する～ 労働安全衛生法は、昭和47年(1972年)に制定されて以来、48年が経ちました。その間、重大な労働災害の発生や社会情勢の変化に対応するため、数多くの法律改正が行われ、省令や告示の新設、改正は数えきれないくらい行われました。労働安全衛生法と関連の政省令、告示等はますます複雑膨大になってきています。労働安全衛生法の理解を深めていただくために、法令はどのようなプロセスを経て制定されるのかを説明した上で、労働安全衛生法の趣旨、体系、改正の歴史や法律の読み方を分かりやすく解説します。同法の第7章「健康の保持増進の措置」については、詳しく解説します。</p>	<p>荒川 輝雄</p>	<p>生涯・専門2</p>	<p>70</p>
<p>1月16日(木) 14:00～16:00</p>	<p>働き方改革関連法施行に伴う各種指針等について～その概要をわかりやすく解説します～ 働き方改革の推進に伴い、労働基準法、労働安全衛生法等の改正がなされ昨年4月から順次施行されています。この間、法律の改正だけでなくいろいろな指針、ガイドライン、通達等(以下「指針等」という。)の改正や新規発出がなされています。法令の改正を伴わない健康確保対策に関連する指針等の改正等もあります。これらは産業医の職務に直接関係するものばかりではありませんが、関連するものとして知っておいた方がよいものも多くあります。今回は、これらをまとめてその概要を解説してみたいと思います。また、たくさん出されている各種リーフレット等についても紹介していきたいと思います。</p>	<p>中山 篤</p>	<p>生涯・更新2</p>	<p>70</p>
<p>1月23日(木) 14:00～16:00</p>	<p>オフィスの職場環境づくり 「情報機器作業における労働衛生管理のためのガイドライン」の解説を中心に快適なオフィス環境づくりについて解説します。</p>	<p>内田 和彦</p>	<p>生涯・専門2</p>	<p>70</p>

◆保健師・看護師研修◆

日時	テーマ	講師	単位	定員
11月5日(火) 14:00～16:00	産業保健と法⑩～心身の状態に関する情報の取扱い～ ストレスチェック制度の施行に伴い、心身の状態に関する情報の取扱いがより煩雑になったと言われています。実務的な難しい問題が山積していますが、まずは基本に立ち返り、心身の状態に関する情報の取扱いについて考え方や構造について見ていきます。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	弁護士 西園寺 直之	単位なし	30
11月6日(水) 14:00～16:00	労働衛生管理の基礎と事例～安全衛生委員会および職場巡視の効果的運用と活性化について～ 基礎と事例シリーズは受講者の皆様からのアンケートに基づきテーマを設定しています。今回は、二部構成で実施します。第一部でテーマの法律面・現場の実務面の説明をします。 第二部で各企業における「安全衛生委員会および職場巡視の効果的運用と活性化について」について「知る、聞く、話す」を基に簡単なセッション(グループワーク)を行います。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	吉田 守	単位なし	20
11月11日(月) 14:00～16:00	メンタルヘルス「社内研修の進め方」～ストレスチェック後のセルフケア～ ストレスチェック後の結果が蓄積され、より快適な職場環境づくりが進められています。そこに加えてセルフケアの必要性が再認識されています。最近関心が高まっているアンガーマネジメントも含めて、有効なセルフマネジメントについて解説します。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	松井 知子	単位なし	30
11月14日(木) 14:00～16:00	実践的な職場復帰支援に向けて メンタルヘルス不調、がん等の支援～事例に基づく産業保健チームのあり方を考えましょう～ メンタルヘルス不調の職場復帰支援が浸透しつつある現状を踏まえ、がん等の「治療と仕事の両立支援」を一緒に考えましょう。 長く付き合う病気と言えるようになった今、がんの種類や診断名が同じでも病状や経過は個人差があります。その状態やプロセスを知り、できる必要な支援等を考えていきましょう。両立支援コーディネーターの研修も実施されています。病院と企業の橋渡的存在、産業保健チームの関わり方なども一緒に考えていきましょう。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	菅野 由喜子	単位なし	30
11月21日(木) 14:00～16:00	働き方改革関連法施行に伴う各種指針等について～その概要をわかりやすく解説します～ 働き方改革の推進に伴い、労働基準法、労働安全衛生法等の改正がなされ今年4月から順次施行されています。 この間、法律の改正だけでなくいろいろな指針、ガイドライン、通達等(以下「指針等」という。)の改正や新規発出がなされています。法令の改正を伴わない健康確保対策に関連する指針等の改正等もあります。これらは産業医の職務に直接関係するものばかりではありませんが、関連するものとして知っておいた方がよいものも多くあります。 今回は、これらをまとめてその概要を解説してみたいと思います。また、たくさん出されている各種リーフレット等についても紹介していきたいと思います。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	中山 篤	単位なし	30
11月25日(月) 14:00～16:00	「交流分析入門」健康な心と豊かな人間関係のための心理学 交流分析(TA)は、個人と組織の活性化・心身症の治療に活用される心理学です。人間力を高め職場を活性化させるメンタルヘルスやコミュニケーションについて考え、楽しく学びましょう。 全国に3700名の会員を有するNPO法人日本交流分析協会の関東支部長であり、組織を元気にする研修に定評のある講師が、心の健康と快い人間関係に生かす「交流分析」の基礎を紹介します。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	日本交流分析協会 金沢 治子	単位なし	30
11月29日(金) 14:00～16:00	事例を通して考える 部下やメンタルヘルス不調者とのコミュニケーション 援助になるかわり方のポイントについて、体験的に学べる機会にしたいと思います。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	松島 尚子	単位なし	20
12月4日(水) 14:00～16:00	レジリエンスについて 仕事上の挫折や生活上でのネガティブなライフイベントは、程度の差はあれ、すべての人に共通して起こり得る。特に現代社会においては、以前よりも多種多様な困難や不測の事態がより身近に存在する現状がある。ネガティブなライフイベントは避けることが出来ないが、ネガティブなライフイベントを経験してもそれを糧とし、しなやかに乗り越えていくことが必要となるのではないだろうか。 EAPカウンセラーの経験から挫折・困難な状況からの回復力である「レジリエンス」について情報提供いたします。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	レジリエ研究所 所長/EAPコンサルティング普及協会 理事長 市川 佳居	単位なし	30

12月5日(木)	職場における救急体制			
14:00～16:00	職場における様々な救急処置について注意点を解説するほか、救急体制づくりに必要となる重点項目を学習することができる研修会です。AED実習がありますので動きやすい服装でご参加ください。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	高山 俊政	単位なし	20
12月11日(水)	労働衛生管理の基礎と事例～企業の安全配慮義務違反をリスクと捉えた、快適職場環境の形成について～			
14:00～16:00	基礎と事例シリーズは受講者の皆様からのアンケートに基づきテーマを設定しています。今回は、二部構成で実施します。第一部でテーマの法律面・現場の実務面の説明をします。 第二部で各企業における「企業の安全配慮義務違反をリスクと捉えた、快適職場環境の形成」について「知る、聞く、話す」を基に簡単なセッション(グループワーク)を行います。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	吉田 守	単位なし	20
12月13日(金)	働き方改革関連法施行に伴う各種指針等について～その概要をわかりやすく解説します～			
14:00～16:00	働き方改革の推進に伴い、労働基準法、労働安全衛生法等の改正がなされ今年4月から順次施行されています。 この間、法律の改正だけでなくいろいろな指針、ガイドライン、通達等(以下「指針等」という。)の改正や新規発出がなされています。法令の改正を伴わない健康確保対策に関連する指針等の改正等もあります。これらは産業医の職務に直接関係するものばかりではありませんが、関連するものとして知っておいた方がよいものも多くあります。 今回は、これらをまとめてその概要を解説してみたいと思います。また、たくさん出されている各種リーフレット等についても紹介していきたいと思います。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	中山 篤	単位なし	30
12月16日(月)	ストレスチェック制度の両輪、個人結果と集団分析結果の活用、働きやすい職場づくり～本人の気づきとともに職場環境改善へスタートしませんか～			
14:00～16:00	あなたにとって働きやすい職場とは？ ストレスチェックを実施して4年目を迎えるように活用されてきていますでしょうか。実施義務だから実施するだけでなく、両輪の一つ集団集計・分析「仕事のストレス判定図」の活用にも目を向けていきましょう。 メンタルヘルス不調未然防止の基本に向けて、働きやすい職場づくりにおけるハードルとは何か、そのハードルへの対処方法は何か、職場の良い点や強みを見つけながら職場環境改善策を考えていきましょう。また、高ストレス者をそのままにしない方策も考えていきましょう。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	菅野 由喜子	単位なし	30
12月18日(水)	労働安全衛生法の理解を深める～法律の趣旨、体系や法律の読み方を理解する～			
14:00～16:30	労働安全衛生法は、昭和47年(1972年)に制定されて以来、47年が経ちました。その間、重大な労働災害の発生や社会情勢の変化に対応するため、数多くの法律改正が行われ、省令や告示の新設、改正は数えきれないくらい行われました。労働安全衛生法と関連の政省令、告示等はますます複雑膨大になってきています。労働安全衛生法の理解を深めていただくために、法令はどのようなプロセスを経て制定されるのかを説明した上で、労働安全衛生法の趣旨、体系、改正の歴史や法律の読み方を分かりやすく解説します。同法の第7章「健康の保持増進の措置」については、詳しく解説します。 ※本研修の研修時間は2.5時間(午後2時00分～午後4時30分)です。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	荒川 輝雄	単位なし	20
12月20日(金)	産業保健スタッフ等が知っておきたい国が支援する7つの最新キーワード&ツール②			
14:00～16:00	産業保健スタッフ等(保健師・看護師、人事労務担当者等)が、経営トップに説明したり、労働者に研修したりする際に、「使えるネタ」を提供します。 「ハラスメント対策関連法(ガイドライン案)」、「健康経営優良法人認定制度」、「SNSカウンセリング」、「公認心理師」、「労働者の心身情報取扱指針」などのキーワードを最新情報と共に解説いたします。 また、法に基づくストレスチェック制度を実施した後、集団分析結果を踏まえた職場環境改善活動時に使える最新ツールや、企業の取り組み事例、工夫のポイントなども紹介します。本講義を通じ、自社に持ち帰った上で、働く人のメンタルヘルスに関し説明する力が身につけられることを願っております。希望者には当日使用したスライドを差し上げます。 ※毎回すぐに受付終了となってしまう、ご迷惑おかけして申し訳ありません。内容は7月の研修会とほぼ同じであります。今回は、初めて参加される方に焦点をあてて講義します。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	「こころの耳」 事務局長 石見 忠士	単位なし	30
12月25日(水)	精神障害者雇用の現状と課題			
14:00～16:00	2006年の国連総会において障害者の権利に関する条約(障害者権利条約)が採択され、日本でも2014年に批准され、各職場において合理的配慮が求められている。2018年4月から、障害者の法定雇用率は公務員が2.5%、民間が2.2%である。 一方、日本の労働人口は減少し、高齢者雇用、外国人労働者の受け入れ、障害者雇用に頼らざるを得ない現状もある。 そうしたなか、障害者雇用として身体障害者雇用には限界がみえ、精神障害者雇用に対する期待が増大している。しかしながら、精神障害・精神障害者への根深い偏見差別が存在すること、他障害に比して職場側の雇用ノウハウの蓄積が少ないこと、職場定着率が低いこと(半年間続かない)など課題も多い。 研修では、こうした基本認識を踏まえ、精神障害者雇用の今後を探るものである。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	大西 守	単位なし	30

1月8日(水) 14:00～16:00	労働衛生管理の基礎と事例～産業保健スタッフが取り組む労働衛生教育とメンタルヘルス対策～ 基礎と事例シリーズは受講者の皆様からのアンケートに基づきテーマを設定しています。今回は、二部構成で実施します。第一部でテーマの法律面・現場の実務面の説明をします。 第二部で各企業における「産業保健スタッフが取り組む労働衛生教育とメンタルヘルス対策」について「知る、聞く、話す」を基に簡単なセッション(グループワーク)を行います。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	吉田 守	単位なし	20
1月14日(火) 14:00～16:30	新型うつ、適応障害、発達障害、いわゆる「グレーゾーン」とどうつきあうか、育て直しの職場コミュニケーションを考える 新型うつ、適応障害、発達障害など職場の不適応は軽症化するものの多様化が進んでいる。診断がつくほどではないが(弱い疾病性)、症状が隠れていて本人も周囲も気づきにくい困っている(強い事例性)ケースに職場はどうつきあっていけばいいのか。コミュニケーションの取り方を変えて「育て直し」ていくことを考えていきます。 (研修の内容は前回開催(令和元年10月8日)と同内容です。) ※本研修の研修時間は2.5時間(午後2時00分～午後4時30分)です。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	廣川 進	単位なし	30
1月20日(月) 14:00～16:00	実践的な職場復帰支援に向けて 脳卒中・糖尿病・肝疾患等の支援～事例に基づく産業保健チームのあり方を考えてみましょう～ 生活習慣病と言われる疾病において、数値の異常が指摘されても症状がない等で、なかなか治療に結びつかないまま、あるいは中断してしまい、病気が悪化する等の実態はありませんか。 また、生活習慣病の基本的な疾病理解を踏まえながら、病気と付き合いながら、仕事と両立するその人らしい仕事ができるような職場復帰支援を考えていきましょう。 がんとは少し違う治療継続の意味など、実践例を交えてお伝えできればと思います。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	菅野 由喜子	単位なし	30
1月22日(水) 14:00～16:00	労働災害の防止について～危険有害業性を有する関係施設の保安全管理を中心に、安全衛生管理の基本について考える～ 総括安全衛生管理者・安全管理者・衛生管理者等が共通して認識すべき安全衛生管理上のポイントを過去の災害事例等を通して検討したいと思います。従って、内容は「安全衛生管理全般」に関するもので、衛生分野に限るものではありません。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	飯島 正三	単位なし	20
1月24日(金) 14:00～16:00	働く人の健康づくりは日常生活の動作改善から ～「転倒防止」「腰痛・肩こり予防」～ 働く人の身体機能低下による「腰痛」「肩こり」の慢性化、「転倒」などの労働災害が増加しています。 この講習会では、関節などにふれながら骨、筋肉、関節を連動して動かす「骨ストレッチ」を紹介していきます。骨ストレッチを行うと、日常生活の動作の筋肉への負担が減り、楽に動けるようになるので「腰痛」「肩こり」などの予防になります。また、骨・筋肉・関節が連動して動くので脚も上がりやすくなり、「転倒」災害の防止につながります。 実技を交えながらの講習会ですが、普段着で年齢に関係なく、誰でもその場で簡単に実施できます。また、職場で無理なく展開できる方法について紹介しますので、この機会に体験していただき職場の健康づくりに役立てていただきたいと思います。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	スポーツ ケア 整体 研究所 (株) 小沼 博子	単位なし	20
1月27日(月) 14:00～16:00	見直そう ハラスメント対策 働き方改革の推進には職場の良好な人間関係が不可欠です。その為に職場のハラスメント対策を再考しましょう。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	森崎 美奈子	単位なし	30
1月28日(火) 14:00～16:00	職場の感染症対策 職場の健康管理担当者の業務として感染症対策の重要性が増しています。これには季節性インフルエンザなど日常的に発生する感染症だけでなく、結核など特殊な感染症についても十分な対策を構築しておく必要があります。本研修では国内の職場で発生しうる感染症とともに、海外派遣労働者にリスクのある感染症や外国人労働者の感染症についての対策を解説します。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	濱田 篤郎	単位なし	30
1月30日(木) 14:00～16:00	働き方改革関連法施行に伴う各種指針等について～その概要をわかりやすく解説します～ 働き方改革の推進に伴い、労働基準法、労働安全衛生法等の改正がなされ昨年4月から順次施行されています。 この間、法律の改正だけでなくいろいろな指針、ガイドライン、通達等(以下「指針等」という。)の改正や新規発出がなされています。法令の改正を伴わない健康確保対策に関連する指針等の改正等もあります。これらは産業医の職務に直接関係するものばかりではありませんが、関連するものとして知っておいた方がよいものも多くあります。 今回は、これらをまとめてその概要を解説してみたいと思います。また、たくさん出されている各種リーフレット等についても紹介していきたいと思います。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	中山 篤	単位なし	30

◆人事・労務・衛生管理者研修◆

日時	テーマ	講師	定員
11月5日(火) 14:00～16:00	産業保健と法⑩～心身の状態に関する情報の取扱い～ ストレスチェック制度の施行に伴い、心身の状態に関する情報の取扱いがより煩雑になったと言われています。実務的な難しい問題が山積していますが、まずは基本に立ち返り、心身の状態に関する情報の取扱いについて考え方や構造について見ていきます。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	弁護士 西園寺 直之	40
11月6日(水) 14:00～16:00	労働衛生管理の基礎と事例～安全衛生委員会および職場巡視の効果的運用と活性化について～ 基礎と事例シリーズは受講者の皆様からのアンケートに基づきテーマを設定しています。今回は、二部構成で実施します。第一部でテーマの法律面・現場の実務面の説明をします。 第二部で各企業における「安全衛生委員会および職場巡視の効果的運用と活性化について」について「知る、聞く、話す」を基に簡単なセッション(グループワーク)を行います。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	吉田 守	50
11月11日(月) 14:00～16:00	メンタルヘルス「社内研修の進め方」～ストレスチェック後のセルフケア～ ストレスチェック後の結果が蓄積され、より快適な職場環境づくりが進められています。そこに加えてセルフケアの必要性が再認識されています。最近関心が高まっているアンガーマネジメントも含めて、有効なセルフマネジメントについて解説します。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	松井 知子	40
11月14日(木) 14:00～16:00	実践的な職場復帰支援に向けて メンタルヘルス不調、がん等の支援～事例に基づく産業保健チームのあり方を考えましょう～ メンタルヘルス不調の職場復帰支援が浸透しつつある現状を踏まえ、がん等の「治療と仕事の両立支援」を一緒に考えましょう。 長く付き合う病気と言えるようになった今、がんの種類や診断名が同じでも病状や経過は個人差があります。その状態やプロセスを知り、できる必要な支援等を考えていきましょう。両立支援コーディネーターの研修も実施されています。病院と企業の橋渡的存在、産業保健チームの関わり方なども一緒に考えていきましょう。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	菅野 由喜子	40
11月21日(木) 14:00～16:00	働き方改革関連法施行に伴う各種指針等について～その概要をわかりやすく解説します～ 働き方改革の推進に伴い、労働基準法、労働安全衛生法等の改正がなされ昨年4月から順次施行されています。 この間、法律の改正だけでなくいろいろな指針、ガイドライン、通達等(以下「指針等」という。)の改正や新規発出がなされています。法令の改正を伴わない健康確保対策に関連する指針等の改正等もあります。これらは産業医の職務に直接関係するものばかりではありませんが、関連するものとして知っておいた方がよいものも多くあります。 今回は、これらをまとめてその概要を解説してみたいと思います。また、たくさん出されている各種リーフレット等についても紹介していきたいと思います。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	中山 篤	40
11月25日(月) 14:00～16:00	「交流分析入門」健康な心と豊かな人間関係のための心理学 交流分析(TA)は、個人と組織の活性化・心身症の治療に活用される心理学です。人間力を高め職場を活性化させるメンタルヘルスやコミュニケーションについて考え、楽しく学びましょう。 全国に3700名の会員を有するNPO法人日本交流分析協会にて9支部の中で関東エリアを担当している支部長であり、組織を元気にする研修に定評のある講師が、心の健康と快い人間関係に生かす「交流分析」の基礎を紹介します。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	日本交流分析協会 金沢 治子	40
11月27日(水) 14:00～15:30	中小規模事業場における産業医活用セミナー 事業者の方が産業保健に取り組むことは、従業員の健康の保持増進を通じ、自社の生産性の向上や優秀な人材の確保にも繋がります。将来の企業価値を高める「投資」としての意義もあります。このような健康経営の視点からも産業医を積極的に活用していくことが重要です。 本研修では、「従業員の健康管理に取り組みたいが、産業医の先生にどのようなことをお願いすれば効果的なのか。」と悩んでいる事業主や人事労務担当者等の方を対象に、労働衛生関係法令担当相談員がわかりやすく解説します。 参加者全員に冊子「中小規模事業場のために産業医ができること」を無料配付します。	荒川 輝雄	70
11月29日(金) 14:00～16:00	事例を通して考える 部下やメンタルヘルス不調者とのコミュニケーション 援助になるかわかり方のポイントについて、体験的に学べる機会にしたいと思います。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	松島 尚子	20

12月4日(水)	レジリエンスについて		
14:00～16:00	<p>仕事上の挫折や生活上でのネガティブなライフイベントは、程度の差はあれ、すべての人に共通して起こり得る。特に現代社会においては、以前よりも多種多様な困難や不測の事態がより身近に存在する現状がある。ネガティブなライフイベントは避けることが出来ないが、ネガティブなライフイベントを経験してもそれを糧とし、しなやかに乗り越えていくことが必要となるのではないだろうか。</p> <p>EAPカウンセラーの経験から挫折・困難な状況からの回復力である「レジリエンス」について情報提供いたします。</p> <p>(保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)</p>	レジリエ研究所 所長/EAPコンサル ティング普及協 会 理事長 市川 佳居	40
12月5日(木)	職場における救急体制		
14:00～16:00	<p>職場における様々な救急処置について注意点を解説するほか、救急体制づくりに必要となる重点項目を学習することができる研修会です。AED実習がありますので動きやすい服装でご参加ください。</p> <p>(保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)</p>	高山 俊政	10
12月11日(水)	労働衛生管理の基礎と事例～企業の安全配慮義務違反をリスクと捉えた、快適職場環境の形成について～		
14:00～16:00	<p>基礎と事例シリーズは受講者の皆様からのアンケートに基づきテーマを設定しています。今回は、二部構成で実施します。第一部でテーマの法律面・現場の実務面の説明をします。</p> <p>第二部で各企業における「企業の安全配慮義務違反をリスクと捉えた、快適職場環境の形成」について「知る、聞く、話す」を基に簡単なセッション(グループワーク)を行います。</p> <p>(保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)</p>	吉田 守	50
12月13日(金)	働き方改革関連法施行に伴う各種指針等について～その概要をわかりやすく解説します～		
14:00～16:00	<p>働き方改革の推進に伴い、労働基準法、労働安全衛生法等の改正がなされ今年4月から順次施行されています。</p> <p>この間、法律の改正だけでなくいろいろな指針、ガイドライン、通達等(以下「指針等」という。)の改正や新規発出がなされています。法令の改正を伴わない健康確保対策に関連する指針等の改正等もあります。これらは産業医の職務に直接関係するものばかりではありませんが、関連するものとして知っておいた方がよいものも多くあります。</p> <p>今回は、これらをまとめてその概要を解説してみたいと思います。また、たくさん出されている各種リーフレット等についても紹介していきたいと思います。</p> <p>(保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)</p>	中山 篤	40
12月16日(月)	ストレスチェック制度の両輪、個人結果と集団分析結果の活用、働きやすい職場づくり～本人の気づきとともに職場環境改善へスタートしませんか～		
14:00～16:00	<p>あなたにとって働きやすい職場とは？</p> <p>ストレスチェックを実施して4年目を迎えるように活用されてきていますでしょうか。</p> <p>実施義務だから実施するだけでなく、両輪の一つ集団集計・分析「仕事のストレス判定図」の活用に目を向けていきましょう。</p> <p>メンタルヘルス不調未然防止の基本に向けて、働きやすい職場づくりにおけるハードルとは何か、そのハードルへの対処方法は何か、職場の良い点や強みを見つけながら職場環境改善策を考えていきましょう。また、高ストレス者をそのままにしない方策も考えていきましょう。</p> <p>(保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)</p>	菅野 由喜子	40
12月18日(水)	労働安全衛生法の理解を深める～法律の趣旨、体系や法律の読み方を理解する～		
14:00～16:30	<p>労働安全衛生法は、昭和47年(1972年)に制定されて以来、47年が経ちました。その間、重大な労働災害の発生や社会情勢の変化に対応するため、数多くの法律改正が行われ、省令や告示の新設、改正は数えきれないくらい行われました。労働安全衛生法と関連の政省令、告示等はますます複雑膨大になってきています。労働安全衛生法の理解を深めていただくために、法令はどのようなプロセスを経て制定されるのかを説明した上で、労働安全衛生法の趣旨、体系、改正の歴史や法律の読み方を分かりやすく解説します。同法の第7章「健康の保持増進の措置」については、詳しく解説します。</p> <p>※本研修の研修時間は2.5時間(午後2時00分～午後4時30分)です。</p> <p>(保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)</p>	荒川 輝雄	50
12月20日(金)	産業保健スタッフ等が知っておきたい国が支援する7つの最新キーワード&ツール②		
14:00～16:00	<p>産業保健スタッフ等(保健師・看護師、人事労務担当者等)が、経営トップに説明したり、労働者に研修したりする際に、「使えるネタ」を提供します。</p> <p>「ハラスメント対策関連法(ガイドライン案)」、「健康経営優良法人認定制度」、「SNSカウンセリング」、「公認心理師」、「労働者の心身情報取扱指針」などのキーワードを最新情報と共に解説いたします。</p> <p>また、法に基づくストレスチェック制度を実施した後、集団分析結果を踏まえた職場環境改善活動時に使える最新ツールや、企業の取り組み事例、工夫のポイントなども紹介します。本講義を通じ、自社に持ち帰った上で、働く人のメンタルヘルスに関し説明する力が身につけられることを願っております。希望者には当日使用したスライドを差し上げます。</p> <p>※毎回すぐに受付終了となってしまい、ご迷惑おかけして申し訳ありません。内容は7月の研修会とほぼ同じであります。今回は、初めて参加される方に焦点をあてて講義します。</p> <p>(保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)</p>	「こころの耳」事務 局長 石見 忠士	40

12月25日(水)	精神障害者雇用の現状と課題		
14:00～16:00	2006年の国連総会において障害者の権利に関する条約(障害者権利条約)が採択され、日本でも2014年に批准され、各職場において合理的配慮が求められている。2018年4月から、障害者の法定雇用率は公務員が2.5%、民間が2.2%である。 一方、日本の労働人口は減少し、高齢者雇用、外国人労働者の受け入れ、障害者雇用に頼らざるを得ない現状もある。 そうしたなか、障害者雇用として身体障害者雇用には限界がみえ、精神障害者雇用に対する期待が増大している。しかしながら、精神障害・精神障害者への根強い偏見差別が存在すること、他障害に比して職場側の雇用ノウハウの蓄積が少ないこと、職場定着率が低いこと(半年間続かない)など課題も多い。 研修では、こうした基本認識を踏まえ、精神障害者雇用の今後を探るものである。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	大西 守	40
1月8日(水)	労働衛生管理の基礎と事例～産業保健スタッフが取り組む労働衛生教育とメンタルヘルス対策～		
14:00～16:00	基礎と事例シリーズは受講者の皆様からのアンケートに基づきテーマを設定しています。今回は、二部構成で実施します。第一部でテーマの法律面・現場の実務面の説明をします。 第二部で各企業における「産業保健スタッフが取り組む労働衛生教育とメンタルヘルス対策」について「知る、聞く、話す」を基に簡単なセッション(グループワーク)を行います。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	吉田 守	50
1月14日(火)	新型うつ、適応障害、発達障害、いわゆる「グレーゾーン」とどうつきあうか、育て直しの職場コミュニケーションを考える		
14:00～16:30	新型うつ、適応障害、発達障害など職場の不適応は軽症化するものの多様化が進んでいる。診断がつくほどではないが(弱い疾病性)、症状が隠れていて本人も周囲も気づきにくい困っている(強い事例性)ケースに職場はどうつきあっていけばいいのか。コミュニケーションの取り方を変えて「育て直し」ていくことを考えていきます。 (研修の内容は前回開催(令和元年10月8日)と同内容です。) ※本研修の研修時間は2.5時間(午後2時00分～午後4時30分)です。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	廣川 進	40
1月20日(月)	実践的な職場復帰支援に向けて 脳卒中・糖尿病・肝疾患等の支援～事例に基づく産業保健チームのあり方を考えてみましょう～		
14:00～16:00	生活習慣病と言われる疾病において、数値の異常が指摘されても症状がない等で、なかなか治療に結びつかないまま、あるいは中断してしまい、病気が悪化する等の実態はありませんか。 また、生活習慣病の基本的な疾病理解を踏まえながら、病気と付き合いながら、仕事と両立するその人らしい仕事ができるような職場復帰支援を考えていきましょう。 がんとは少し違う治療継続の意味など、実践例を交えてお伝えできればと思います。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	菅野 由喜子	40
1月22日(水)	労働災害の防止について～危険有害業性を有する関係施設の保全管理を中心に、安全衛生管理の基本について考える～		
14:00～16:00	総括安全衛生管理者・安全管理者・衛生管理者等が共通して認識すべき安全衛生管理上のポイントを過去の災害事例等を通して検討したいと思います。従って、内容は「安全衛生管理全般」に関するもので、衛生分野に限るものではありません。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	飯島 正三	50
1月24日(金)	働く人の健康づくりは日常生活の動作改善から ～「転倒防止」「腰痛・肩こり予防」～		
14:00～16:00	働く人の身体機能低下による「腰痛」「肩こり」の慢性化、「転倒」などの労働災害が増加しています。 この講習会では、関節などにふれながら骨、筋肉、関節を連動して動かす「骨ストレッチ」を紹介していきます。骨ストレッチを行うと、日常生活の動作の筋肉への負担が減り、楽に動けるようになるので「腰痛」「肩こり」などの予防になります。また、骨・筋肉・関節が連動して動くので脚も上がりやすくなり、「転倒」災害の防止につながります。 実技を交えながらの講習会ですが、普段着で年齢に関係なく、誰でもその場で簡単に実施できます。また、職場で無理なく展開できる方法について紹介しますので、この機会に体験していただき職場の健康づくりに役立てていただきたいと思います。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	スポーツケア整体研究所(株) 小沼 博子	20
1月27日(月)	見直そう ハラスメント対策		
14:00～16:00	働き方改革の推進には職場の良好な人間関係が不可欠です。その為に職場のハラスメント対策を再考しましょう。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	森崎 美奈子	40
1月28日(火)	職場の感染症対策		
14:00～16:00	職場の健康管理担当者の業務として感染症対策の重要性が増しています。これには季節性インフルエンザなど日常的に発生する感染症だけでなく、結核など特殊な感染症についても十分な対策を構築しておく必要があります。本研修では国内の職場で発生しうる感染症とともに、海外派遣労働者にリスクのある感染症や外国人労働者の感染症についての対策を解説します。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	濱田 篤郎	40

<p>1月30日(木) 14:00～16:00</p>	<p>働き方改革関連法施行に伴う各種指針等について～その概要をわかりやすく解説します～ 働き方改革の推進に伴い、労働基準法、労働安全衛生法等の改正がなされ昨年4月から順次施行されています。 この間、法律の改正だけでなくいろいろな指針、ガイドライン、通達等(以下「指針等」という。)の改正や新規発出がなされています。法令の改正を伴わない健康確保対策に関連する指針等の改正等もあります。これらは産業医の職務に直接関係するものばかりではありませんが、関連するものとして知っておいた方がよいものも多くあります。 今回は、これらをまとめてその概要を解説してみたいと思います。また、たくさん出されている各種リーフレット等についても紹介していきたいと思います。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)</p>	<p>中山 篤</p>	<p>40</p>
<p>1月31日(金) 14:00～16:30</p>	<p>がんをもつ労働者と職場へのより良い支援のために ～治療と就労のバランスを支えるヒント～ 今回の研修では、近年増えているがんをもつ労働者が、治療と就労のバランスをとれるようにすることを目指して、どのような支援が望まれるか、どのように支援を進めるかについて、事例検討を含めて学びます。 ※本研修ではグループワークを行います。 ※本研修の研修時間は2.5時間(午後2時00分～午後4時30分)です。</p>	<p>錦戸 典子 佐々木 美奈子 社会保険労務士 本山 恭子</p>	<p>30</p>